

プロジェクト報告書

NPO 法人

団体名 里山ゆうゆう倶楽部南ちゃんの家

▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願いします)を添付して下さい。

1. プロジェクト名

「一の森」再生プロジェクト

2. プロジェクトの目的とその背景 300文字まで

※応募申請書に記載のもので可。

稲城市にある里山、南山は区画整理事業で3分の2が住宅や学校、墓地になることが決まり、開発工事が進んでいる。

残り少なくなった里山の一部を会員全員でお金を出し合い購入した。「一の森」と名付け、篠竹でおおわれた荒れた山をクヌギや山野草の咲く明るい森に変えたい。

3. プロジェクトの内容 300文字まで

※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のもので可。

- ①篠竹とクズの刈り取り
- ②不要な木の間伐
- ③挿し木を育てるための畑づくり
- ④挿し木で育てたクヌギ、コナラ、山野草を植樹
- ⑤ベンチを造り、登山者の休憩できる場所を作る
- ⑥子供たちが遊んだり自然観察できる環境教育の場を作る

4. プロジェクト実施にあたっての工夫点とその効果 300文字まで

- ①刈り取った大量の篠竹の置き場と利用
束ねて山の淵に置き、カントリーヘッジをつくり土止めの効果をねらった。
篠竹を野菜の添え木や植樹した樹の添え木として利用した
- ②不要な木の間伐
真如苑よりいただいた助成金でチェーンソーを購入でき、仕事のはかどった
- ③助成金で購入した耕運機で挿し木用の畑を作ることができ、挿し木も元気に育っている

5. 全体的所感、終了しての感想など 300文字まで

篠竹で覆われ、入ることができなかった暗い山が、今、市民の憩いの場所と変わりました。カメラを持って一の森から富士山を撮影する人やパードウオッチ、親子でお弁当を広げる人などが多くなりました。
今後は社会福祉協議会と協力して精神障害の方の森林セラピーや、小学生の森の中の体験やカブトムシなどの昆虫観察会なども行いたいと思っています。

今、移植したクヌギや山野草は まだまだ小さいですが 5年後、10年後にはいい森になるだろうと夢をふくらませています。
助成に感謝しております。

